

## 題材名「Webページの作成 - アニメーションづくり - 」

### 目 標

- ・情報をデジタル化することにより，様々な形式の情報を一元的に取り扱えることを理解させる。
- ・文字や図形，画像，音などの情報を入力し，Webページを完成させる。
- ・情報の加工において，著作権や個人情報の保護に配慮する態度を養わせる。

### コンピュータを活用する利点

HTML 言語を用いた複数の情報の形式を組み合わせたWebページの作成を通して，情報活用の実践力の育成を図り，情報の科学的な理解を深めさせ，創造する意欲を育てることができる。また，情報社会に参画する態度の育成に観点をあてた著作物の取り扱いについての指導では，知識・理解の定着度を高めるため，プロジェクトを用いて視覚で捉えさせることが最適である。

### 授業の流れ

(本時 11 / 15)

本時の目標の確認

アニメーションの  
しくみを考え，体験

題材の著作権の確認

アニメーションの作成

自分の Web ページに  
リンク設定

工夫や苦労した点の  
発表

次時の学習内容の確認

### ICT 活用場面

アニメーションのしくみを考えさせる場面では，簡単なサンプル画像を用意し，意欲的な作品づくりに反映させる。アニメーション作成の手順を含め，プロジェクトを用いて，視覚で捉えさせる。

題材の著作権の確認では，実例を提示し，再確認させる。

より滑らかに動くように画面の構成や演出の工夫をした生徒作品を自分のWebページにリンクさせた後，リアルタ



イムで提示し，工夫点や苦労した点を発表させる。その後，アニメーションの応用を知らせ，次時への意欲を高めさせる。

### 成果と課題

言葉にとどまらず，著作権に触れた実例をプロジェクトで提示することは，生徒の著作権の再認識に大きく役立ったようである。また，友達の作成内容や進度を瞬時に知ることができ，次時の目標も立てやすくなる。プロジェクトは説明場面での活躍が目立った。反面，活用しすぎると，生徒はディスプレイとプロジェクトの往復を繰り返すことが多くなり，授業的にも健康的にも課題が残る。場面や時間を考え，適宜に活用する必要がある。

### ICT 活用環境等

使用周辺機器	パソコン18台，プロジェクト
使用ソフト名	Giam (アニメーション作成ソフト)
使用教室	コンピュータ室